

結核はまだ過去の病気ではない！？結核の終息にむけてできること

目次

- ① 日本の結核の現状
- ② 結核はどんな病気？
- ③ 予防の方法
- ④ 結核は治せるの？
- ⑤ 健保保健師からの一言

1. 日本の結核の現状

日本でも明治時代から昭和 20 年代までの長い間、「国民病」「亡国病」と恐れられていましたが、今では医療と生活水準の向上により「薬を飲めば治る病気」となりました。

しかし欧米先進国と比べてまだ患者が多く、2020 年では**高齢者**を中心として約 13,000 人が発病し、約 2000 人が死亡しています。

2. 結核とはどんな病気？

症状：

結核初期の症状はカゼにそっくりなので見過ごしがちです。結核菌に感染し発病すると、、初期は、カゼに似た**痰、微熱、寝汗、だるさ**などがでます。病状が進むと **血痰、喀血**などがみられます。



感染力：


菌を出している肺結核患者の咳やくしゃみなどの「しぶき」といっしょに結核菌が空気中に飛び散り、それを直接吸い込むことでうつります（空気感染）。国の感染症の分類では **2 類**に分類され、非常に**感染力は強い**です。

発症：

結核は半年から 2 年の潜伏期間を得て発症します。

COVID 19 は感染すると発症まで数日と短い期間でしたが、また、感染しても全ての人が発症するわけではありません。健康であれば免疫の働きによって結核菌を抑え込んでしまいます。病気などで免疫が落ちると結核菌が再び活動をはじめ発病することがあります。

3. 予防の方法

大人の場合	子どもの場合
胸部エックス線検査を1年に1回程度受けておくことが大切です！ 健康的な生活が免疫力を高め結核の予防につながります（禁煙、 程度な運動 、 バランスのとれた食事 、 十分な睡眠 ）	子どもは BCG ワクチン が有効です。 ＜ワクチンの接種対象＞ 生後 1 歳に達するまでに定期接種として受けることができます。標準的な接種期間は生後 5 か月から 8 か月に達するまでの間です。 

4. 結核は治せるの？

2種類以上の薬を6カ月から9か月間毎日きちんと飲めば治せます。結核の治療は公費負担が受けられますので、お近くの保健所へ相談してみてください。

5. 健保保健師からの一言

人類はずっと感染症と常に戦ってきました。結核含め COVID 19 などの感染症への対策には粘り強く取り組まなければなりません。先人が積み上げてきた努力を引き継ぎ、日本や世界が「結核 0（ゼロ）」になることを目指して、健康的な生活、定期的な健診の受診、ワクチン接種などの対策を頑張っていきましょう。



<参照>

結核予防会 結核研究所「結核の統計 2022 を読む」、一般社団法人 日本ワクチン産業協会；予防接種のはなし（2022）、厚生労働省 感染症情報「結核」